

平成 31 年 4 月 25 日

第50回 国際物理オリンピック (IPhO2019) イスラエル大会 日本代表選手決定について

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会
理事長 長谷川 修司

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会は、第50回国際物理オリンピック(期間:2019年7月6日～15日 開催国:イスラエル)に派遣する日本代表選手5名を決定しました。

国際物理オリンピックは、1967年にポーランドのワルシャワで第1回大会が開催された物理の国際的なコンテストで、全世界80前後の国・地域から高等教育機関就学前の若者が参加し、物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、国際的な交流を通じて参加国における物理教育が一層発展することを目的として、毎年開催されています。

わが国は2006年、第37回国際物理オリンピックIPhO2006シンガポール大会に初めて日本代表選手5名を派遣し、以来毎年参加し、メダルを獲得しています。2018年の第49回国際物理オリンピックIPhO2018ポルトガル大会での成績は、金メダル1名、銀メダル4名でした(別紙参考資料をご参照ください)。

今回日本代表となった5名の選考過程は以下の通りです。

第14回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2018(応募者1699名)の「第1チャレンジ」(予選)で課せられた理論コンテストおよび実験課題レポートの総合成績によって選抜された99名が、昨年夏に東京都で開催した「第2チャレンジ」(本選)に臨み、その中で優秀な成績を収めた12名を日本代表候補者として選抜されました。

日本代表候補者には、9月に開催した「秋合宿」において国際物理オリンピックに向けた訓練のガイダンスと実践的基礎学習を行ったのち、インターネットを利用した「理論問題・実験データ解析演習の通信添削」、12月末には実験実習を主体とした「冬合宿」、さらに今年3月末には最終選考を兼ねた「春合宿」を行って、最終的に日本代表5名を決定しました。

代表者5名は、引き続き国際大会参加に向けたトレーニングに参加し、イスラエル大会に備えています。

日本代表選手役員団の結団式・壮行会は7月5日(金)午後、東京理科大学(神楽坂)で行い、翌日イスラエルに向けて出発する予定です。

なお、2020年に開催される第51回国際物理オリンピックの日本代表選考を兼ねる国内コンテスト、第15回全国物理コンテスト・物理チャレンジ2019の申込がすでに始まっており、7月7日に「第1チャレンジ」(予選)の理論コンテストが開催され、「第2チャレンジ」(本選)は、本年8月17日～20日に東京理科大学 野田キャンパス(千葉県野田市)で開催される予定です。詳しくは、ホームページをご参照ください。

第50回国際物理オリンピック (IPhO2019) 日本代表選手

氏名	フリガナ	性別	学校名(所在地)	学年
池田 紘輝	イケダ コウキ	男	大阪府立天王寺高等学校(大阪府)	3年生
笹木 宏人	ササキ ヒロト	男	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	3年生
末広 多聞	スエヒロ タモン	男	大阪星光学院高等学校(大阪府)	3年生
千葉 遼太郎	チバ リョウタロウ	男	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	3年生
山田 耀	ヤマダ アキラ	男	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	3年生

※ 氏名50音順

<問い合わせ先> 特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 事務局 菊池 祥子
東京都新宿区神楽坂 1-3 東京理科大学内
TEL 03-5228-7406 FAX 03-3268-2345 info@jpho.jp http://www.jpho.jp

「国際物理オリンピック」について

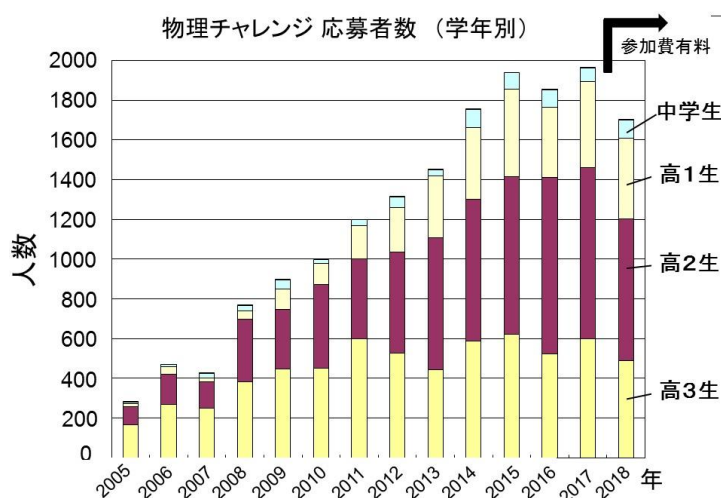
国際物理オリンピックの参加資格は、20歳未満で大学・短期大学などの高等教育を受けていない生徒たちです。各国内で選抜された最大5名の代表選手たちが、大学・高校教員からなる大会日本役員（リーダー、オブザーバ）とともに参加します。約10日間という長い会期のあいだ、選手は理論問題と実験問題にそれぞれ5時間をかけて挑戦するほか、他国からの参加者や主催者と国際的な交流を深めることができるように構成されています。役員たちは問題の翻訳や採点交渉などを行います。

近年の開催国／都市は、2006年 シンガポール、2007年イラン／イスファハン、2008年ベトナム／ハノイ、2009年メキシコ／メリダ、2010年 クロアチア／ザグレブ、2011年タイ／バンコク、2012年エストニア／タリン、2013年デンマーク／コペンハーゲン、2014年カザフスタン／アスタナ、2015年インド／ムンバイ、2016年スイス・リヒテンシュタイン／チューリッヒ、2017年インドネシア／ジョグジャカルタ、2018年ポルトガル／リスボンでした。

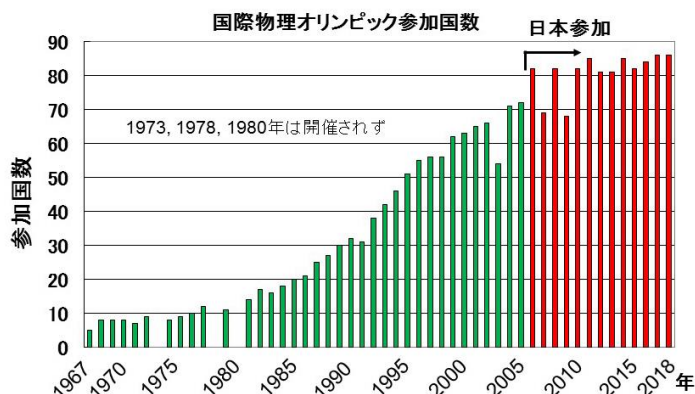
2022年には日本で国際物理オリンピックが開催されることが決まっています。

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会について

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会 (JPhO) は、全国物理コンテスト「物理チャレンジ」を開催し、そこから国際物理オリンピックに派遣する日本代表選手を選抜し、さらに選手を訓練して国際大会に派遣することを主たる事業としています。この事業は、物理関連学会や、全国の大学、地方公共団体、研究所、多数の企業等の支援とともに、科学技術振興機構を通じて国の支援を得て継続しております。本法人は、我が国の高校生・中学生の間に広く物理に対する興味・関心を喚起するために、全国各地で高校生・中学生、それに中学校および高校の先生方を対象としたプレチャレンジ等の普及啓発活動も広く行っています。



物理チャレンジ (国内選抜大会) 応募者数



国際物理オリンピック (IPhO) 参加国数

国際物理オリンピックでの日本選手団の成績

第49回 ポルトガル大会 (2018年)	金 銀 銀 銀 銀
第48回 インドネシア大会 (2017年)	金 金 銀 銀 銀
第47回 スイス・リヒテンシュタイン大会 (2016年)	金 金 金 銀 銅
第46回 インド大会 (2015年)	金 銀 銀 銅 銅
第45回 カザフスタン大会 (2014年)	銀 銀 銀 銀 銅
第44回 デンマーク大会 (2013年)	銀 銀 銅 銅 銅
第43回 エストニア大会 (2012年)	金 金 銀 銀 銀
第42回 タイ大会 (2011年)	金 金 金 銀 銀
第41回 クロアチア大会 (2010年)	銀 銅 銅 銅 入賞
第40回 メキシコ大会 (2009年)	金 金 銀 銅 銅
第39回 ベトナム大会 (2008年)	金 銀 銅 入賞 入賞
第38回 イラン大会 (2007年)	金 金 銀 銀 銅
第37回 シンガポール大会 (2006年)	銀 銅 銅 銅 入賞

IPhO での日本代表選手の成績